

宮の森

発行元・白鳥神社総代会

台風の爪痕



近年まれにみる強い台風一十一号だった。昨年は甘く見て、幟旗の大半が暴風の餌食となった。秋の例祭を間近に控え、てんてこ舞いの無様。今年には神社境内にある、諸材料にシートをかけ、稲荷神社の幟旗は取り外し万全を期した。

午後二時ころから風雨は強くなってきた。電線が鳴る！

雨戸を叩く！こりゃ本物だ！あたりが薄暗くなり始めた午後五時。Line来た！神社の古木が数本倒れた！大鳥居が傾いている！かっぱを着て飛び出した。樹齢100年近い杉、樺が根をむき出しに倒れている。拝殿、本殿の屋根の一部が飛んでいる。総代衆の一部に来てもらった。だが、まだ風雨が強く、手の施しようがない。

随所で、大規模の停電も発生！幹部で話し合い、明日の復旧の作戦会議をする。

宮の森は県の天然記念物だ。まずは役所に報告し、指示を待つ。それまでは手はつけられない。傾いた鳥居が危険だから、この修繕を優先した。

主な被害は、大鳥居が傾き、



垣の修繕工事は西村石材店、本殿鞘堂棟の板金工事は曾我板金、及びその足場工事は鳶の葺島、倒木の処理は、三輪英一氏にそれぞれ依頼し、格安に工事をしていただきました。大鳥居の復旧には東海鋼管より資材の提供をして頂き、又、奥美濃プロデュースの北條弘二氏には機械を格安に提供いただき、最後の仕上げの塗装と絵を書き込んでいただきました。

鶏冠を新調

大神楽の鼓打ち者がかぶる鶏冠がよれよれになり新調しました。

神社関連の品物は特注が多く、何れも高価になります。そこで一計をもって郡上北高を訪ね、美術部で製作出来ませんかと校長先生にお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。子供達が地域文化に関わってゆく事の大切さを説かれ、正に卒隊同機で事が成立しました。誠に有難うございました。鼓打ち六人の内、角涼太郎君は北高生、曾我龍希君、曾我翼君は郡高生です。上村大河君は白中三、大嶋一輝君は白中一です。これを機により多くの生徒諸君に神

変形。境内の大杉が二本、檜、樺、雑木が各一本ずつ倒れた。倒木により本殿の瑞垣の一部が破損。

拝殿屋根の棟と、本殿屋根の棟のトタンが飛んだ。総代OBの方々や総代衆が連日作業に出ていただき復興に努めました。玉

我板金、及びその足場工事は鳶の葺島、倒木の処理は、三輪英一氏にそれぞれ依頼し、格安に工事をしていただきました。大鳥居の復旧には東海鋼管より資材の提供をして頂き、又、奥美濃プロデュースの北條弘二氏には機械を格安に提供いただき、最後の仕上げの塗装と絵を書き込んでいただきました。



社なるものに興味を抱き、地域に溶け込んでもらいたいと念じました。

秋祭りフォトコン

第一回目の白鳥秋祭りを写そうフォトコンテストを行いました。祭りの美しい瞬間を切り取り応募していただきました。一科会会員の下牧穂積氏に審査をして頂き、次の方々が賞を受けられました。

▼最優秀賞・獅子も降参・岐阜市・後藤守忠さん▼優秀賞・名残惜しむ獅子・白鳥町・

野田淑子さん▼優秀賞・真剣・白鳥町・籠原 清 さん▼特別賞・尾藤榮子さん・一佛美智子さん・大嶋奈々華さん・瀬木重瀾さんでした。

十月の白鳥夢祭り、十一月の白鳥文化祭に展示しました。今後は鷺見病院のロビーをお借りして、入賞作品とそれ以外の応募作品も順次展示いたします。是非、観賞して下さい。

稲荷神社鞘堂棟上げ

十一月十一日、秋空の下、大工さん、総代衆で棟上げを行いました。本殿は昭和五十六年に新築され以来二十七年、風雨に耐えてきました。この間、倒木事故も二回程ありましたが、何れも難をのがれてきました。この度、境内の杉の間伐事業で得た材料を用い、総代衆の協力も得て、造成の運びとなりました。未永い御守護を祈念するものであります。



初宮と七五三

七月二十九日には初宮、十一月二日には初宮と七五三を行い次の皆さんが参拝されました。一人一人が玉櫛を奉奠され、無事のご出産と、今日までのお礼として、この先の健康を神に祈りました。

初宮詣

- 増田純平・梢夫妻・次女・あゆなちゃん(大島)
葛島 健・奈美夫妻・長男・青君(為真)
和田桂治・美紀夫妻・次女・心晴ちゃん(大間見)
大坪 聖・亜衣夫妻・二女・菜緒ちゃん(那留)

七五三

- 佐藤哲也・なぎさ夫妻・長女・朱莉さん7歳(向小)
増田純平・梢夫妻・長女・あおはさん7歳(大島)
増田純平・梢夫妻・長男・光紀君5歳(大島)
尾藤健介・亜由美夫妻・次女・光莉さん3歳(為真)
永井新一朗・紗帆夫妻・次男・心雄君5歳(大和)
早川英利・彩夫妻・長女・実伶さん7歳(白鳥)
早川英利・彩夫妻・二女・美寿さん3歳(白鳥)
大坪 聖・亜衣夫妻・次女・恵菜さん3歳(那留)
大西雅巳・由里子夫妻・長女・芭奈さん3歳(白鳥)
正者勇人・沙世夫妻・次女・杏奈さん7歳(為真)
松崎貴宏・美穂夫妻・次女・妃円さん3歳(阿多岐)



御寄進・ご奉仕

- 幟旗格納箱寄贈.....足立好教 様
四七ユニツク車無償提供.....曾我工務店 様
例祭神事拝殿の畳十二畳寄贈.....曾我幸男 様
薄型十六吋中古テレビ寄贈.....松井利憲 様
大鳥居補強部分の絵画塗装.....北條弘三 様
大鳥居補強鋼管一对提供.....東海鋼管(株) 様
大鳥居補修ミニコンボ無償提供.....西村石材 様
玉垣修繕土台石寄付(¥57,800)西村石材 様
大鳥居補修フリフト提供:奥美濃プロデュース 様
大鳥居修繕協力者.....曾我重孝、清水弘、曾我誠、曾我金一、正者憲次 様(総代以外の方々)
倒木処理作業協力者.....二輪英一、正者英雄 様
大神楽神舞子柄帯二本寄贈.....葛島晋一郎 様
大神楽役者の藁草履九十八足.....二輪英一 様
神饌白米一斗.....金子 明 様
大神楽へ差入れ梨二十五個.....喫茶・白樺 様
写真展審査料寄付壹万円.....下牧穂積 様
写真展作業協力.....曾我 誠 様

白鳥神社の秘密(八).....友田 勝也

直感的な意見ではありますが、「白鳥(しろとり)」という言葉には複数の意味が隠されていると思います。

「白」を「黄金」の隠語としてとらえ、「白鳥」を「黄金採り」と解釈する考え方にはかなり信憑性があるでしょう。「白鳥」の名がある地域の多くに、金属精錬文化の痕跡があったり、何らかの鉱山があったりすることが、偶然ではないと思われるからです。一方、「白鳥」と「金属」と「ヤマトタケル」の関係は別角度から結びつける説もあります。真言密教の達人・長曲勇さんと木内鶴彦さんの共著『あの世飛行士はみた!? 歴史の有名なあの場面』では、ヤマトタケル率いる「タタラ衆」は隕鉄を探し求め、それを含む隕石を見つけて出すために

「白鳥」を観察したと書かれています。隕石が埋まる場所では、その強い磁場が上空の「白鳥」の飛び方に影響するのだそうです。「白鳥」の飛行がグラツクと不安定になるのを見て、隕石の場所を特定したのだというわけです。

その他、金色に光るUF0が頻繁に飛来した土地であることを比喩的に言い伝えたものが「白鳥伝説」だとする見方もあるようです。この説も、必ずしも荒唐無稽な戯言とは言い切れない側面があると僕は睨んでいます。もし、隕石や地下深くの岩石が含有する隕鉄に、「宇宙エネルギー」と呼ぶべきものを強力に引き寄せ、同時に放射する力があるとしたらどうでしょう。その隕鉄を抽出して他の金属と混ぜることにより、超常的な力を持った道具を作ることができるとしたらどうでしょう。「ヤマトタケル伝説」は、異次元の力をみなぎらせた「剣」などの金属器を産み出す、古代の特珠技能集団「タタラの民」の足跡を密かに伝承するものであるかも知れないのです。(次回に続く)



四月までの主な行事予定

- 12/16・12/31、迎春準備
1/1、歳旦祭、12/31夜1〜3まで初詣接待
1/13、門松撤去、左義長
2/24、厄払い神事
3/3、祈年祭、稻荷神社初午祭
三月、最終総代会、会計監査、次年度事業計画 等

御朱印受付

ご希望の方は057518214387・瀬上まで (文責・瀬木)